

津市男女共同参画フォーラム開催事業【津市】

個別事業費	722 千円
交付金額	361 千円

地域の実情と課題

令和3年度に行った市民意識調査において、「男は仕事、女は家庭」という考え方については、否定的な考えが増えており、固定的な性別役割分担意識は改善されつつあるが、依然として肯定する人も2割以上いることから、性別にとらわれないような意識への変化を更に促す取組が求められる。

目的・目標

公募市民で構成される実行委員会と行政との協働で開催するフォーラムで市民の男女共同参画意識の高揚と理解を図る。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	市民の男女共同参画の高揚と理解を図る	意識の変化70%	意識の変化53%	75.70%

事業の特徴

市民の男女共同参画意識の高揚と地域住民の男女共同参画に対する理解の促進を図るため、公募市民で構成される津市男女共同参画フォーラム実行委員会と津市との協働で「津市男女共同参画フォーラム」を開催している。また、実行委員のみならず、様々な分野で活動している各種団体・グループ及び個人の参加と協力を得て、より多くの市民による参画を行っている。

連携団体

三重県・三重労働局
後援名義使用承認及びフォーラム開催チラシの配布等の協力

事業の効果

オープニングで地域の子ども達によるキッズダンスを実施し、若年層を巻き込むことができた。また、実行委員による男女共同参画に係る「電子かみしばい」の発表、ジェンダー・バイアスに関するクイズを交えた活動発表により、身近な内容から日本全体の状況など多岐にわたる内容を周知できた。講演会では経済・企業における女性の視点の重要性等から、女性活躍の推進の必要性を伝えた。これらのことから、男女共同参画に関する意識の変化があった割合は5割を超えた。

今後の課題

参加者の増加。
幅広い年代層が参加しやすいイベントとするための工夫が必要である。

事業の概要

男女共同参画意識の高揚と地域住民の男女共同参画に対する理解の促進を図るため、公募市民による津市男女共同参画フォーラム実行委員会と津市との共催により、「誰もが自分らしく 生きるまち～ジェンダー平等社会を～」をテーマに令和7年度津市男女共同参画フォーラムわあむ津を11月15日(土)に開催し、参加人数は132人であった。

フォーラム当日

●ホール(13:00～15:45)

- ・オープニング Squad Nによるダンスパフォーマンス
- ・実行委員による男女共同参画を啓発する電子かみしばいの披露
「誰もが安心な避難所づくり」…災害時において女性の視点を取り入れること、様々な世代の意見を取り入れることの大切さを伝えた。

- ・市内団体による活動発表
- ・伊藤聡子氏(フリーキャスター・事業創造大学院大学客員教授)による講演
【演題】輝ける日本へ！～これからの地域と女性の力～

●ホール外(11:00～13:00)

- ・地域の物産販売

